

# 図書館へ行こう！

※今年(2016)の校内読書旬間は11/14(月)～11/21(月)です※

来月の読書旬間にあわせて、図書館では恒例の「読書に関する標語」を募集することになりました。今年(2016)はどんな楽しい作品が集まるか、とても楽しみです。たくさんの賞品を準備して待っていますよ。



校内標語の応募用紙は、近日中に国語科の先生方に配布していただきます。

～過去8年間の全国共通標語～

年	標語(全国共通)
2009	思わず夢中になりました
2010	気がつけば、もう降りる駅。
2011	信じよう、本の力
2012	ホントノキズナ
2013	本と旅する 本を旅する
2014	めくるめぐる 本の世界
2015	いつだって、読書日和
2016	いざ、読書。

↓今年(2016)の全国共通標語



さあ読書の秋です。たくさん読もう、いろいろ読もう、もう一度読もう!! 図書館へ行こう!

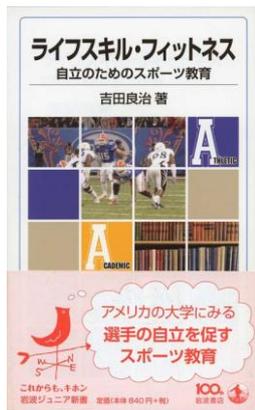
……スポーツの秋……

……芸術の秋……

## 『ライフスキル・フィットネス』

自立のためのスポーツ教育 吉田良治著

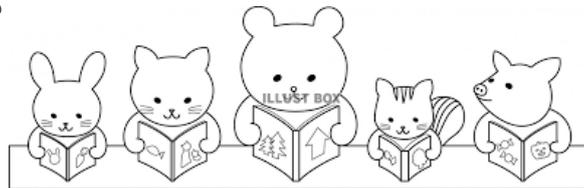
ライフスキル・フィットネスとは“自立するための適応能力”のこと。文武両道を重視し、リーダーシップやスポーツマンシップを育むアメリカの大学スポーツ教育を紹介。選手を指導するコーチの役割や手厚い学業サポートの仕組み、セカンドチャンスの理念など、自立した人間を育てるための教育、人生のゲームプランを論じます。



『美術館の舞台裏』 高橋明也著  
二十年前、スペインのさびれた地方都市に著名な建築家が設計した美術館が誕生した。集客数は最初の3年間で400万人、収益約5億ユーロ!実はこの美術館は存続の危機に陥った老舗名門美術館による起死回生の挑戦だった。美術品の保存と研究を旨とする美術館に、商業化とグローバル化の波が押し寄せる。文化の殿堂で、今、何が起きているのか。

## 『教育という病』内田良

学校教育の問題は、「善さ」を追い求めるあまり、その裏側に潜むリスクが忘れられてしまうこと、そのリスクを乗り越えたことを必要以上に「すばらしい」と捉えてしまうことによって起きている! 巨大化する組体操、家族幻想を抱いたままの2分の1成人式、教員の過重な負担……今までで見ぬふりをされてきた「教育リスク」をエビデンスを用いて指摘し、子どもや先生が脅かされた教育の実態を明らかにする。



……学問の秋……

……食欲の秋……



## 『農家と農業』板垣啓四郎著

「産業」として把握する農業はとても興味深い。どんな働き方で作り、どのように流通し、農協や農水省・政府とどう関わっているか、そして田や畑はどのように維持されているのか。本書は日本と、そして日本に関わる世界の農産物の「仕事」を解説。経済ニュースもこれできちんと理解できること間違いなし! 「食べる」の基本、原点がこの一冊に詰まっています。

スポーツの秋、芸術の秋、学問の秋、食欲の秋……今年(2016)の「読書の秋」は、新書を読もう!